

## 島田市平和都市宣言の概要

### 1 制定の趣旨

わが国では、戦後生まれの人口が約8割を超え、悲惨な戦争体験を語り継ぐことが次第に難しくなっている。また、平和に対する個々の価値観や考え方が多様化している社会情勢にもなっている。

島田市においても、平和祈念事業等への参加者の減少が見られるなど、市民の平和に対する意識の希薄化が進んでいる。そうした状況の中で、すべての市民が安らかで穏やかな生活を営み、心の底から幸福を実感できる、真の平和都市の実現に向け、老若男女に分かりやすい言葉でその志を表し、この宣言を機に市民が一丸となって恒久の平和について考え、行動していくことを世界に向けて発信するものです。

### 2 構成について

全体の構成としては、身近な環境から世界へと目を向けていくことと同時に、過去から現在・未来へと続く時代の流れに沿って平和を目指す姿勢を示しています。

前段では、飾らないあいさつが交わされる平穏な日常を平和の象徴としてとらえています。そして、その平和が多く犠牲と先人たちの努力によって築きあげ守られてきたことを述べ、後段は、平和の尊さを未来に継承していく責任とそのためになすべきことを提言して締めくくる構成としています。

段落 1. 平和の尊さ

段落 2. 過去から現在までの平和の構築

段落 3. これからの私たちの責任

段落 4. 5. 決意とメッセージ

段落 6. 締めくくり（宣言）

### 3 島田市平和都市宣言の解説

#### 【段落1】

「おはよう」

「おはようございます 今日<sup>きょう</sup>はいいお天気<sup>てんき</sup>ですね」

「いってきます」

「いってらっしゃい 気<sup>き</sup>をつけてね」

何<sup>なに</sup>げないあいさつを 交<sup>か</sup>わしあえるよろこび

それは 平和<sup>へいわ</sup>という宝<sup>たから</sup>もの

#### 《要旨》

この段落は、ありふれた飾らないあいさつが交わされる日常生活を、安心して暮らせる平和な社会の象徴の一つとして取り上げることにより、平和に慣れてしまっているとも言われる現代社会において、あらためて平和とは何かについて考えていただくきっかけにしようとするものです。

#### 《文章解釈》

(あいさつ文前段2行)

地域や親しい人同士で交わされる自然なあいさつは、コミュニケーションの基本であり、自由に交流できる証しでもあります。そうした形のひとつとして、1日の始まりである朝のあいさつの風景を表現しています。

(あいさつ文後段2行)

家族の日常の中で交わされるあいさつです。親が子の無事を願う気持ち、家族が家族の無事を願う気持ちなど、日常生活の中での安全（交通事故、犯罪、災害などの無い）や安心（いじめや差別などの無い）について、大切な人を送り出す者の何気ないあいさつに含まれた深い愛情に満ちた想いを「気をつけてね」という言葉で表しています。無事で帰ってくることがあたり前と思える幸せをあらためて考えていただきたいという想いを込めています。

(下2段)

日常のあいさつをさりげなく交わすことができる環境は幸せなことであり、その環境は、誰もが望んでいる大切なものであるということを表しています。

なお、「宝もの」という表記については、物質的な意味だけではないとい

う想いを表すため、ひらがなとしています。

※この段落においては、市民アンケートから導き出された以下の想いを込めています。

- ・戦争、紛争、テロや核兵器などにより命を脅かされることのない平穏な日常
- ・ふれあい、コミュニケーション、仲良し、いじめや差別の無い環境
- ・元気（健康）、思いやり、感謝、謙虚な気持ち
- ・家族、安全、安心
- ・子供が安心して学校に通える環境

## 【段落2】

でも それは<sup>あらそ</sup>争いや<sup>さいがい</sup>災害など  
多くの<sup>おほ</sup>苦しみや<sup>かな</sup>悲しみを<sup>の</sup>乗り越えた  
<sup>つよ</sup>強さや<sup>やさ</sup>優しさによって  
<sup>きざ</sup>築きあげ <sup>まも</sup>守られてきたもの

### 《要旨》

この段落は、今を平和と思える日常の生活があるのは、過去の悲惨な歴史や多くの悲しみを乗り越えてきた先人たち、平和な環境を守り続けてきた人たちの努力や苦労があったということ、決して忘れてはならないということ、を訴えています。

### 《文章解釈》

過去の悲惨な戦争、争い、自然災害、犯罪や事故などによって、多くの方が犠牲となりました。今の私たちの平穏な暮らしは、精神的な強さや優しさによって悲しみを乗り越えた人たちや、平和を守り続けてきた人たちの努力や苦労により、築きあげ守られてきたものです。そうしたことをあらためて考えていただき、現在を生きる私たちは、決して先人への感謝を忘れてはならないという想いを表しています。

※この段落においては、市民アンケートから導き出された以下の想いを込めています。

- ・過去の犠牲（戦争、災害、犯罪、事故）を忘れない
- ・先人の努力への感謝

### 【段落3】

現在を生きる私たちに託されたことは  
すべての人に永遠の平和が訪れるよう  
お互いを認め合い助け合い  
分かち合える社会を実現し  
次の世代へつないでいくこと

#### 《要旨》

この段落は、現在を生きる私たちの責任は、平和社会の実現に努め、恒久的な平和を伝えていくことであることを訴えています。

#### 《文章解釈》

すべての人が永遠に平穏な日常を送ることができる、真の平和を目指すことが大切です。そのためには、性別、言語、人種、障がい、信条、社会的身分などを超えてお互いを認め、助け合い、差別やいじめのない、奪い合うことのない信頼で結ばれた人間関係を築くことや、生命の恵みを授けてくれる自然を敬う社会の実現をしなければならないこと、さらにはそれらを次の世代に引き継いでいくことが私たちの重大な責務であるということを訴えています。

※この段落においては、市民アンケートから導き出された以下の想いを込めています。

- ・ 普遍的な平和
- ・ 自分たちだけではない
- ・ 相互理解、友好関係
- ・ ゆずり合い、分かち合い
- ・ 次世代へ伝える

#### 【段落4】

私たちは呼びかけます  
「今日より明日をいい日にしよう」  
「生命の尊さを伝えよう」  
「あなたがいてくれてありがとう」  
そして すべてのものに「ありがとう」

#### 《要旨》

平和の実現のために大切なことを「呼びかけます」という形で表現しています。「呼びかけたい」ことは、人によって違います。この段落に表記している「呼びかけ」の内容以外にも個々のイメージを膨らませていただくことを狙いとしています。

#### 《文章解釈》

平和社会を実現する大切な一步の、一つの例として、「明日への希望と感謝の気持ちを持つことが必要である」ということを表しています。一日一日が更にすばらしい日となっていくように、前向きに進んで行こうという呼びかけです。

また、生きていることのすばらしさ、大切さ、価値などについて、現在を生きる私たち、そして次代を担う若い人たちに理解してもらい、未来に伝えていこうということも呼びかけています。

「ありがとう」という言葉は、何かの行為に対するお礼だけではなく、大切な人を想う深い愛情に満ちた想い、お互いの存在を尊重し感謝する姿勢を表しています。さらには、私たちが自然の恵みを受け、自然に生かされているということへの感謝の気持ちも表しています。

※この段落においては、市民アンケートから導き出された以下の想いを込めています。

- ・呼びかける
- ・明日への希望
- ・感謝
- ・人間の尊厳
- ・自然の大切さ、自然への畏敬

## 【段落5】

私たちは叫びます

「人を傷つけ不幸にするものはிரらない」

「歴史が培った大切な財産を 消し去ることは許さない」

### 《要旨》

平和を目指す強い決意を内外に向かって「叫ぶ」という形で訴えています。「叫びたい」ことは、人によって違います。この段落に表記している「叫び」の内容以外にも個々のイメージを膨らませていただくことを狙いとしています。

### 《文章解釈》

私たちが平和社会を実現するために、戦争、紛争、災害、犯罪、事故を無くすことは必須です。一人一人がお互いの存在を認め合い、個を思いやる心を育てることが大切です。

一つの例として、身体や心を傷つける側も傷つけられた側もお互いの不幸の元になるもの（武器や核兵器を含む大量破壊兵器、言葉など）は絶対に使わないこと、持たないこと、無くそうという強い決意を表しています。

また、私たちの郷土に息づく大切な文化、史跡、自然、人（心）などを破壊や消滅から守り、後世の人たちへ伝える責務があることを強く訴えています。

※この段落においては、市民アンケートから導き出された以下の想いを込めています。

- ・ 訴える
- ・ 核兵器を含む大量破壊兵器の廃絶
- ・ 歴史、文化の継承
- ・ いじめや差別の無い環境
- ・ 核兵器や大量破壊兵器の廃絶
- ・ 戦争反対

## 【段落6】

わたし  
私たちは宣言します  
おおいがわ せいらゆう はぐく みどり  
大井川の清流に育まれた 緑ゆたかな島田市が  
へいわ ねが せかいじゆう ひと  
平和を願う 世界中の人たちとともに  
えがお た あか みらい  
笑顔の絶えない 明るい未来をめざして  
あゆ  
歩みつづける 平和都市であることを

### 《要旨・解釈》

大井川の清き水、茶畑や山々の緑に恵まれ発展してきた「ふるさと島田市」が、世界中の人たちとも手を取り合って、希望に満ちた明るい未来を実現するために、行動し続けていくことを強い意志を持って宣言するものです。

※この段落においては、市民アンケートから導き出された以下の想いを込めています。

- ・島田ならではの恵まれた自然環境
- ・平和を願うことの尊さ
- ・笑顔
- ・国内外の人たちとの交流、連携、協力